

事業評価書

補助事業名	三沢飛行場等関連公共用施設(消防に関する施設:指揮車購入)整備事業						
補助事業者名	三沢市長 小檜山 吉紀						
実施場所	青森県三沢市大字三沢字堀口17番地36号(三沢市消防署)						
補助事業の成果の目標	<p>指揮車は、当務消防隊大隊長及び指揮隊が乗車し、災害現場での指揮活動を行うための車両である。現車両については、平成12年度に三沢市消防署に整備した指揮車であり、整備後21年が経過したことで、エンジン系や電気系の故障が多く発生してきているため、緊急走行時における安全性の低下が問題とされており、更新整備が急務である。また近年、災害が複雑多様化する中で、消防活動もその災害の状況に応じて対処していかななくてはならず、災害状況の把握、隊員の安全確保、各関係機関との連絡調整、活動隊への指揮等、災害現場では指揮活動が最も重要であると考えられている。</p> <p>以上のことから、本車両の更新を行うことで、市民の生命を災害から保護するとともに被害を軽減させ、地域住民の生活環境の向上を図るものである。</p>						
補助事業の内容	指揮車 1台						
補助事業の始期及び終期	令和4年度						
事業費及び交付金額		4年度					計
	事業費	円 14,982,000					円 14,982,000
	交付金額	13,500,000					13,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【成果】 指揮車を更新したことにより、エンジン系や電気系に係る故障リスクが低減し、緊急走行時における安全性が確保された。また、指揮車の更新に伴い積載スペースが拡充され、移動式指揮板の積載やその他の様々な資機材が収納可能となったことから、災害状況の把握、隊員の安全確保、各関係機関との連絡調整、活動隊への指揮等の指揮活動能力の向上が図られた。</p> <p>【評価】 指揮車更新前は、エンジン系や電気系に係る故障等が発生していたことで、緊急走行時における安全性が問題視されていたが、更新後は、日常点検や災害出場でも故障の発生が見られなくなり、災害出場体制が万全となった。以上のことにより、市民の生命を災害から保護するとともに被害を軽減させ、地域住民の生活環境の向上を図ることが出来たと評価する。</p> <p>【周知実績】 購入した車両後部には、防衛省所管補助事業である旨をエンブレムにより表示し、また、市の広報誌及び市のホームページ内に交付金事業により車両を購入した旨を掲載することによって周知を行った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	車両及び資機材の点検整備や取扱い訓練等を行い、防災防御活動において、最大限に活用できるようにする。						
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						